

農林漁業のうごき

京都府 No.195 令和6年

府民の皆さんが木と触れ合う環境の広がり ～ひろがる京の木整備事業～



イオンモール京都桂川に京都府産木材を使用した子どもの遊び場がオープン（関連記事 P.7）



デジタル版は
コチラ

内容

特集 1	令和6年度 農林水産関係当初予算の概要	2～5
特集 2	省エネルギー型生産機械への転換を支援しました	6
特集 3	「農業経営塾」で農業の成長を支援しています！	6
特集 4	「未来につなぐ京の木府民会議全体会」を開催！	7
特集 5	京都府産木材をふんだんに使用した木育広場オープン！	7
特集 6	漁業者の、漁業者による、漁業者のための資源管理が始まりました	8
特集 7	「きょうと食の安心・安全フォーラム～信頼で紡ぐ京の食～」を開催	8
トピックス	「京都食ビジネスプラットフォーム全体会」北部で初開催 / 「京小麦の収穫祭2024」開催！ / 東京で京都の鮎のPR活動を実施!! / 近畿東海北陸連合肉牛共進会において最優秀賞を獲得 / 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールで府内2点が入賞！ / 府内の農業委員会・農業委員が2年連続で農林水産大臣表彰受賞 / 林大祭とミニ学校見学会を実施 / 農林水産フェスティバルにて「がんばれ治山くん」を実演！ / 冬眠明けのクマに注意	9～11
シリーズ	第19回 農林水産技術センターの研究紹介 生物資源研究センター / 農林センター	12
地域の取組	京都乙訓地域農林女子と京都市生活研究グループによる研修・交流会を開催 / 山城農業士会×調理師専門学校等がコラボし、山城産農産物の魅力を発信 / 京都丹波地域で移住者が起業、活躍！ / 地域住民と連携して進める森林整備 / 大阪・関西万博に向けて、丹後産農産物・加工品をアピール / 府営ほ場整備事業女布地区の完了	13～15
シリーズ	第6弾 学び舎へようこそ！「未来の担い手を育む事業を紹介します」	16



令和6年度 農林水産関係当初予算の概要

京都府では、府政運営の羅針盤となる京都府総合計画に基づき、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点から「あたたかい京都づくり」を加速化するために必要となる予算を編成し、予算規模（当初予算と一体的に編成する令和5年度2月補正予算を含む。）は、一般会計で前年度当初予算比2.7%減の約1兆44億円を計上しました。

農林水産分野においては、「京都府農林水産ビジョン」（令和5年3月改定）の5つの「重点戦略」に関する事業など、希望と活力に満ちた農林水産業や農山漁村を実現するための取組を計画的かつ総合的に推進する予算として一般会計で約204億円を計上しました。

【戦略1】フードテックと基盤強化で農林水産業の夢と安心を創造する

〈①先端技術の活用による農林水産業の成長産業化〉

■京都フードテック推進事業 ……【一部新規 3億4,285万円】

京都の食産業の高付加価値化と競争力強化を図るため、フードテック（※）に関する研究機関のネットワークの形成や、食関連事業者のニーズの集約、フードテックとのマッチングによる新商品・サービスの開発に向けた取組を支援することで、京都ならではのスマート技術の実装や開発商品の販路開拓など、農林漁業者・食関連事業者に還元する仕組みを構築する。

（新規）加工食品の知見を有する人材の育成、開発拠点の認知度向上のためのセミナー開催

（※）フードテック：社会課題の解決に資する食分野の最先端技術の総称

■京都みどりの食料システム戦略推進事業 ……【一部新規 3億2,883万円】

農林漁業・食品産業の持続的発展と食料の安定供給の確保に向け、「京都府みどりの食料システム基本計画」に基づき、環境負荷低減事業活動を推進するため、環境負荷低減事業活動に必要な機械等の導入を優先的に採択する「優先枠」の設定、有機農産物等の生産に係る推進協議会の設置や環境負荷低減事業活動に取り組む産地の形成等を支援する。

〈②京都の特長を生かした生産力の強化〉

■集落連携100ha農場づくり事業 ……【継続 6,525万円】

メガ団地（100ha農場）を形成する営農モデルを構築して持続可能な地域農業を創出するため、複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業連携による人材確保の取組を支援する。

■京都農業経営強化事業（一部再掲） ……【継続 1億542万円】

ブランド京野菜など収益性の高い園芸産地を育成するため、園芸用パイプハウスや生産・出荷調整用機器の整備等を支援する。

■耕畜連携推進事業（一部再掲） ……【一部新規 4,500万円】

持続可能な農業を推進するため、府内産肥料・飼料を安定的に生産・供給可能な体制を確立する。

（新規）畜産農家に対する自給飼料生産機器等の導入を支援

〈③安心・安全をもたらす基盤づくり〉

- 盛土対策総合推進事業 ……………【継続 500万円】
「宅地造成及び特定盛土等規制法」に基づき、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するため、規制区域の指定に必要な基礎調査等を実施する。
- 農林水産業基盤整備事業 ……………【継続 56億3,390万円】
農林水産業のイノベーション実現と安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施する。
- 農作物高温対策事業 ……………【新規 2億4,000万円】
今後の猛暑に備え、高温対策の推進体制を強化するため、高温耐性品種や食味試験等に係る実証実験を行い府内農家に情報提供するとともに、高温対策につながる設備導入を支援する。

【戦略2】森林を適正に管理し、林業の発展と豊かな森を実現する

〈①木材サプライチェーンの再構築と林業経営の安定化〉

- 「京の木」循環利用総合対策事業(森林環境譲与税活用) ……………【継続 3,100万円】
林業・木材産業の振興による森林資源の循環利用を推進するため、川上から川下までの連携による府内産木材の安定した需給体制を構築する。
- 森林経営管理制度市町村支援事業(森林環境譲与税活用) ……………【一部新規 1億3,464万円】
森林経営管理制度(※)の円滑な運用のため、市町村への技術的支援や職員研修の実施など、市町村が行う取組への支援を強化する。
(新規) 航空レーザ計測で得られたデータ解析による高精度な森林情報の取得、各市町村の情報を関係者間で共有する森林クラウドの構築に向けた基礎調査を実施
(※) 森林経営管理制度：森林を市町村が適正に管理するため、林業経営の適否に応じて意欲と能力のある林業経営者に委託又は市町村自ら経営管理を行うもの
- 林業「森世紀」創造戦略事業(生産・販売力強化対策)(豊かな森を育てる府民税活用) ……【継続 6億4,950万円】
府内産木材の利用促進や競争力強化を図るため、防災・減災を目的とした森林整備や里山保全活動を実施するとともに、公共施設や民間施設、住宅における木造化・木質化や、高性能林業機械の導入など伐採と再生林の低コスト化、更には、特用林産物の生産振興などの取組を支援する。
- 次世代林業を担う林業事業者総合支援事業 ……………【一部新規 4億277万円】
生産性向上と府内の素材生産量の増加により、林業の成長産業化と適切な森林管理を両立させるため、府内の林業を担う林業事業者の経営をソフト・ハードの両面から総合的に支援する。
(新規) 就学、就業、定住を複合した林業体験型研修を実施

〈②山地災害の防止・低減のための対策強化〉

- 森林災害防止事業(一部再掲)(一部豊かな森を育てる府民税活用) ……………【継続 22億3,221万円】
森林が有する災害防止機能を高めて府民の安心・安全を確保するため、間伐や風倒木除去等による森林整備及び土砂や危険木の流出を抑制するための治山施設の設置等を実施する。
- 豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業(豊かな森を育てる府民税活用) ……………【継続 2億円】
森林の多面的機能を維持・増進するため、市町村が地域の実情に応じて実施する森林の整備や保全等の取組に対して交付金を交付する。

【戦略3】オープンイノベーションでブランド価値を進化させる

〈①京ものブランド戦略の新展開による付加価値の向上〉

- 京都フードテック推進事業(再掲)** ……【一部新規 3億4,285万円】
国内外における府内産農林水産物・加工品(京もの)の新たなブランド価値を創造・付加し、他産地との優位性を確保するため、産学公連携による研究体制の構築や京もの食品を活用した商品開発・海外販路開拓を支援する。(新規)フードテックに特化した中食開発の支援
- 「京の米」ブランド力向上対策事業(一部再掲)** ……【継続 7,068万円】
京都府オリジナルブランド米「京式部」や「京の米」の新たな市場・販路拡大を展開するため、「京式部」のブランド化を戦略的に進めるとともに、「京の米」の高品質化と知名度向上を推進する。
- 宇治茶ブランド世界発信事業(一部再掲)** ……【継続 2,820万円】
宇治茶の新たな市場・販路拡大を図るため、高品質で市場評価が高い「宇治種」への改植を推進するとともに、宇治茶のプレミアムブランド化や商標対策、更には「京都府宇治茶普及促進条例」に基づき、茶業振興や世界文化遺産登録に向けた取組を展開する。
- 未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業(生産・流通拡大)** ……【継続 710万円】
漁業・漁村の活性化を図るため、府内産水産物の生産設備の導入や流通拡大に向けた取組を支援する。

〈②京都ブランドを支える流通の基盤づくり〉

- 「食の京都」推進事業** ……【継続 1,100万円】
府域共通の観光資源である「食」を目的とした周遊観光を促進するため、「食の京都」をキーワードに、地域のいちおし食材を活用した地域の魅力向上や、消費地での認知度向上の取組を支援する。
- きょうと「食の安心・安全」確保事業** ……【継続 132万円】
食の安心・安全を確保するため、食品表示の監視や研修会開催などの事業者支援、食に関する情報提供等を実施する。
- きょうと食いく先生活動拡大・強化事業** ……【継続 856万円】
学校・保育所・地域等での体験型食育を強化し、地域や府民の食育を推進するため、「きょうと食いく先生」の派遣や地域の食育活動の支援、若い世代を対象とした食育出前講座等を実施する。

【戦略4】人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む

〈①意欲ある経営者の育成・支援体制の確立〉

- 京都農人材育成強化事業** ……【継続 4億8,445万円】
高度な経営感覚を持つ農人材の育成により、攻めの農業への転換を図るため、オール京都体制で「京都農人材育成センター」を運営し、相談から就農までをワンストップで一貫してサポートするとともに、京の農業応援隊(農業改良普及センターなど)による技術研修等の伴走支援に加え、発展段階に応じた経営研修を一体的に実施する。
- 農林水産分野人材確保総合対策事業** ……【一部新規 4,140万円】
農林水産業の成長産業化を牽引する高度な専門人材と地域を支える多様な担い手を確保するため、令和7年度に農林水産業人材育成センター(仮称)を設置し、分野横断で就業相談から定着までを一貫支援する。(新規)農林水産人材確保育成戦略(仮称)の策定、新たな担い手への実務指導・試験的な人材活用の支援

- 京都畜産未来の担い手づくり事業(一部再掲)** ……【**継続 361万円**】
畜産の担い手を確保し、後継者の育成を推進するため、畜産法人等への就業者や新規就農希望者に対する研修等を実施する。
- 未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業(海の民育成事業)** ……【**継続 882万円**】
新規就業者を育成するため、「海の民学舎」の運営や修了生等へのスキルアップ研修等の実施、漁船・漁具リース事業を支援する。
- 次世代林業を担う林業事業体総合支援事業(再掲)** ……【**一部新規 4億277万円**】
生産性向上と府内の素材生産量の増加により、林業の成長産業化と適切な森林管理を両立させるため、府内の林業を担う林業事業体の経営をソフト・ハードの両面から総合的に支援する。
(新規) 就学、就業、定住を複合した林業体験型研修を実施

〈②農林水産業・農山漁村を支える人材の裾野拡大〉

- 集落連携100ha農場づくり事業(再掲)** ……【**継続 6,525万円**】
メガ団地(100ha農場)を形成する営農モデルを構築して持続可能な地域農業を創出するため、複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業連携による人材確保の取組を支援する。
- 京都モデルフォレスト推進事業** ……【**継続 480万円**】
府民参画、府民協働による森づくりを推進するため、森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した森林づくりの活動を支援する。

【戦略5】人と資源の活用で、持続可能な農山漁村コミュニティを創る

〈①持続的で活力に満ちた地域づくり〉

- 日本型直接支払事業** ……【**継続 14億4,685万円**】
農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、国の日本型直接支払制度等を活用し、地域の共同活動や中山間地域における農業生産活動等を支援する。

〈②地域の独自性や多様性を生かしたビジネスの展開〉

- 京のむらづくり推進事業** ……【**継続 1億6,800万円**】
人口減少に対応できる地域運営体制づくりを推進するため、農地や集落内の施設維持等の地域共同活動を再編・合理化し、省力化を図るとともに、地域運営体制の形成に向けた取組等を支援する。
- 「移住するなら京都」推進事業** ……【**継続 1億9,500万円**】
多様なニーズに対応した移住の促進により、農山漁村地域の活性化を推進するため、「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」に基づき、移住から定住に至るまでの各段階に応じ支援する。
- 有害鳥獣総合対策事業** ……【**一部新規 8億1,650万円**】
農作物被害対策を推進するため、ニホンジカ等の捕獲強化、捕獲個体の処理施設や防護柵の整備、担い手育成及びジビエ利用拡大に向けた取組等を支援する。
(新規) 鳥獣侵入感知装置を付加した防護柵をモデル地区で導入
- 内水面漁観連携推進事業** ……【**新規 1,400万円**】
内水面が有する多面的機能の増進を図るため、異業種との連携等により自然に触れ合う機会を創出するなど、新たな地域振興の取組を支援する。

特集 2

省エネルギー型生産機械への 転換を支援しました

国際情勢の変化などに伴う電気代や燃料費等の高止まりが、農業者の経営に影響を与えています。こうした厳しい状況にある農業者の経営の改善を図るため、低コスト化や効率化につながる省エネルギー型生産機械の導入や集出荷施設等の省エネ化を緊急的に支援しました。

多くの農業者が、遠赤外線乾燥機やヒートポンプの導入などにより、電気・燃料コストの10%以上低減に向けた、意欲的な取組にチャレンジしています。

今後とも農業者に寄り添ったきめ細やかな支援を行い、地域農業を支えていきます。



ヒートポンプ



遠赤外線乾燥機

農産課 京の米・豆・保険係 TEL：075-414-4953

特集 3

「農業経営塾」で農業者の成長を 支援しています！

京都府が関係機関と連携して設置した、「京都農人材育成センター」では、新規就農・就業希望者への情報発信から就農後の経営相談・研修までを一貫して支援しています。

令和5年度は、経営改善に必要なスキルを学べる「農業経営塾」を開催し、マーケティング、財務管理など、経営に特化した講義（全8回）や個別相談会を、オンラインと集合研修を組み合わせた形で実施しました。経営塾の取組を通して、高度な経営ノウハウを習得するだけでなく、若手農業者間の交流を積極的に働きかけることで、次代の京都農業を担う高度な経営人材の育成を目指しています。



全8回の講義を通して、
研修者自身の経営戦略をブラッシュアップします

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4912

特集 4

「未来につなぐ京の木府民会議全体会」を開催!

京都府では、令和4年度に「未来につなぐ京の木府民会議」を設置し、京都府内産の木材を利用していただけよう気運の醸成に向けた取組を行っており、この度、令和5年11月11日(土)に「サンガスタジアム by KYOCERA」において2回目となる全体会を開催しました。

当日は約100名の方に御参加いただき、木材利用促進に向けた講演会や交流会のほか、木材製品等のPR展示を実施し、参加者から「異なる業種間で意見交換や認識の共有ができ、有意義だった。」などの感想が得られました。

今後も、木材利用の気運を高めるため、木の魅力や木材利用の意義を普及・啓発する取組を進めてまいります。



木材の利用促進に向けた講演会

林業振興課 木材利用促進係 TEL: 075-414-5009

特集 5

京都府産木材をふんだんに使用した木育広場オープン!

イオンモール京都桂川に北山丸太等の京都府産木材を使用した「もくいくひろば」が整備されました(ひろがる京の木整備事業(豊かな森を育てる府民税活用事業)を活用)。オープン初日から子ども達が木のトンネル等で遊ぶ姿が見られ、ひろばの利用を通じて、多くの府民が木とふれあい、木を身近に感じていただけることが期待されます。

今後も引き続き、府民の皆様とともに京都府産木材の利用促進に係る取組を進めてまいります。



京都府産木材を使用した『もくいくひろば』



イオンモール京都桂川
大野ゼネラルマネージャー

『明日もイオンモール京都桂川に行きたい!』とお子さまにも親しんでいただけるショッピングモールを目指し、府民税活用事業を利用し、木育広場を新設しました。地元京都産の良質な木材のぬくもりを楽しんでいただければと思います。

京都林務事務所 林務課 TEL: 075-451-5724

特集
6

漁業者の、漁業者による、 漁業者のための資源管理が始まりました

京都府では、定置網漁業や底曳網漁業、釣延縄漁業等の多様な漁業が営まれ、漁業者等の自主的な話し合いにより、漁業特性に応じた資源管理に取り組まれてきました。

平成30年公布の改正漁業法では、この自主的取組を「資源管理協定」として行政が認定し、官民一体となって資源管理を推進することが規定されました。

京都府においては、漁業者・漁協等の関係各所の尽力により、ルール設定等の調整がまとまり、令和6年2月に協定が締結され、取組が進められています。

※取組例

- ・定置網漁業(年7日以上月休)
- ・底曳網漁業(未成熟なカニの漁獲禁止や定期休漁)
- ・釣延縄漁業(月2日以上月休) 等

今後は、協定に基づく取組の効果を検証し、公表することで、透明性の確保を図りながら、京都府の豊かな水産資源が持続的に活用できるよう取り組んでいきます。



資源管理協定の締結に係る意見交換の様子

水産課 漁政企画係 TEL: 075-414-4992

特集
7

「きょうと食の安心・安全フォーラム ～信頼で紡ぐ京の食～」を開催

消費者・生産者間の相互理解・信頼づくりを推進するため、食品関連事業者と消費者との交流の機会として、令和6年2月9日(金)に、「きょうと食の安心・安全フォーラム」を開催しました。当日は、121名の方に御参加いただき、参加者からは「消費者に良い商品をお届けするために日々努力されていることがよく伝わってきた」「地産地消を意識し、京都の食を応援したい」などの声がありました。

今後も、このような交流の機会を通して、「食の信頼づくり」を推進します。

〈参加事業者(発表者)〉

- ・京都府生菓子協同組合(上田 孝博 氏)
- ・有限会社みずほファーム(桑山 直希 氏)
- ・清水農園(清水 大介 氏)



食品関連事業者による講演

農政課 食の安全・食育係 TEL: 075-414-5654

トピックス

「京都食ビジネスプラットフォーム全体会」北部で初開催

令和6年1月30日(火)に綾部市のあやべ・日東精工アリーナで「京都食ビジネスプラットフォーム全体会」を開催しました。食に関する異業種の交流・連携により生まれたプロジェクトの紹介や、北部を中心とした農林漁業者や加工事業者と全国に流通網をもつ流通・小売事業者らの交流会を行い、新たなビジネス創出の機会となりました。京都市外での開催は初の試みであり、北部地域の事業者からは、「北部開催が有難かった」「引き続き今回のようなイベントを実施してほしい」とのお声をいただきました。



多くの事業者が集い、ブースでのマッチングや今後の連携に向けた交流を深めていた

流通・ブランド戦略課 食品産業振興係 TEL：075-414-4954

「京小麦の収穫祭2024」開催！



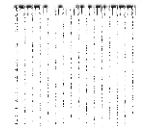
各店こだわりの京小麦メニュー

京都府内で生産された小麦(京小麦)の魅力を消費者の皆様にご覧いただくため、パン屋、ラーメン店等で京小麦を100%使用したパン・麺類等を提供する「京小麦の収穫祭2024」が令和6年1月15日(月)から4月7日(日)まで開催されています。

京小麦のもちもちとした食感が好評で、6回目となる今回は開催エリアを更に拡大し、京都府内を始めとする1都2府9県で過去最多の148店舗が参加しています。各地の名店で、京都で育まれた風味豊かな京小麦の味わいをご堪能ください。



公式Instagram



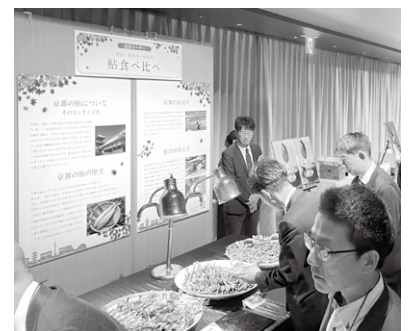
公式X(旧Twitter)

農産課 京の米・豆・保険係 TEL：075-414-4967

東京で京都の鮎のPR活動を実施！！

令和5年11月に八芳園(東京都港区)において、京都に縁のある経済人や中央省庁関係者など約160名が集まるイベント「東京で活躍する京都人の集い」が開催されました。

このイベントの中で、保津川漁協、美山漁協、由良川漁協から提供された鮎の食べ比べが行われ、鮎の塩焼きやブイヤベースが振る舞われました。苔や水質等、鮎が生息した河川の環境によって味が異なるため、食べた方からは「鮎の香りや身の締まりなどに違いが感じられる」との感想が聞かれ、多くの方が「鮎」を肴に地元の思い出話を花を咲かせながら料理を楽しみ、京都の鮎の美味しさをPRすることができました。内水面漁業は地域振興の重要な資源であり、引き続きPR活動を行っていきます。



鮎料理に多くの方が舌鼓を打たれました

水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4992

トピックス

第70回近畿東海北陸連合肉牛共進会において最優秀賞を獲得

令和5年11月19日(日)に近畿東海北陸連合肉牛共進会が開催され、西川貴大さん(亀岡市)が最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しました。

本共進会は昭和27年から開催されている歴史ある共進会で6府県(京都、滋賀、兵庫、三重、岐阜、静岡)が参加します。

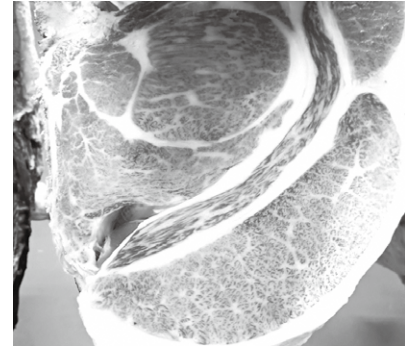
神戸ビーフ、松阪牛、近江牛、飛騨牛等の名だたる銘柄牛が出揃う国内屈指の品評会で、府内産和牛が最優秀賞をはじめとする5つの賞を獲得したことで、府内の畜産農家の肥育の技術の高さを示すことができました。

(去勢牛の部)

出品者	成績
西川貴大(亀岡市)	最優秀賞(1位)
人見武瑠(亀岡市)	優秀賞1席(2位)
人見武瑠(亀岡市)	優良賞2席(6位)
原田雅之(亀岡市)	優良賞3席(7位)

(雌牛の部)

出品者	成績
(株)丹波清光ファーム(京丹波町)	優良賞1席(5位)



最優秀賞を受賞した枝肉(令和5年11月)

畜産課 畜産振興係 TEL: 075-414-4981

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールで府内2点が入賞!

【小学校の部 入選】



しもおか みや
下岡 美也さん
亀岡市立大井小学校2年

【高等学校の部 入選】



やまくち えれな
山口 恵麗奈さん
京都府立北嵯峨高等学校2年

京都府及び公益社団法人京都モデルフォレスト協会では、「緑化運動ポスターコンクール」を毎年実施しています。令和5年度においては、総数875点の応募があり、このうち14点を公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「令和6年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」へ応募したところ、2点が国土緑化推進機構理事長賞に入選しました。

今後も本コンクールをはじめ、子ども達へ自然や森林の大切さを伝える取組を行ってまいります。

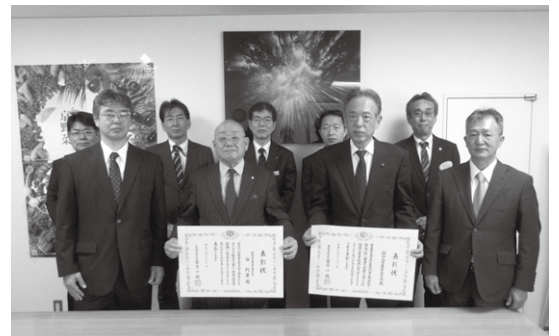
森の保全推進課 モデルフォレスト推進係 TEL: 075-414-5005

府内の農業委員会及び農業委員が2年連続で農林水産大臣表彰を受賞

農地利用の最適化を推進されたこと等に関し顕著な実績をあげられた農業委員会及び農業委員を表彰する農林水産大臣表彰において、福知山市農業委員会と谷則男氏(城陽市農業委員)が受賞されました。

福知山市農業委員会におかれては、委員が一丸となって地域営農の話し合いを行うなど継続した取組が、谷氏におかれては、長年にわたり農業委員会組織の活動強化に寄与されたことが、それぞれ評価されました。

昨年の京丹後市農業委員会及び梅田和男氏(同市農業委員)に続き、府内からの受賞が2年連続となりました。



受賞された皆様(表彰状伝達式)

経営支援・担い手育成課 農地活用係 TEL: 075-414-4902

トピックス

林大祭とミニ学校見学会を実施

令和5年12月3日(日)に林業大学校にて、地域及び林業関係の方と本校との交流を目的とした、「第8回林大祭」を開催しました。

学生手作りの丸太椅子やまな板等の木工品販売、山で集めたツルや松ぼっくりを利用したリース教室、地域の商店等による模擬店など盛りだくさんな内容でした。

今年は、ミニ学校見学会を同時開催したほか、近隣の京丹波森林組合や京丹波町教育委員会とも連携したことで、林大入学希望者を含む、300名を超える方にご来場いただきました。

来年は皆様も是非林大祭へお越しください。



学生が製作した木工品の販売



学生と来場者がたき火を囲んで交流

京都府立林業大学校 TEL : 0771-84-2401

農林水産フェスティバルにて「がんばれ治山くん」を実演!

土石流の恐ろしさや治山ダムの効果等について理解を深め、防災意識の向上へつなげることを目的として、令和5年11月25日(土)、26日(日)に開催された農林水産フェスティバルにて、治山ダム土石流実験装置「がんばれ治山くん」の出張実演を行いました。

「がんばれ治山くん」の、実際に雨を降らせて土砂を流す実演に、大人から子どもまで多くの人が集まり、「治山ダムの効果が見て取れるのが面白い」等の感想をいただきました。

「がんばれ治山くん」は森林の働きを広く知っていただくために小学校等への出張実演や装置の貸出を随時受付けておりますのでご活用ください。



がんばれ治山くん



実演時には多くの観客が集まる

森の保全推進課 森林土木係 TEL : 075-414-5028

冬眠明けのお腹を空かせたクマに注意!

府内ではここ数年連続してクマによる人身被害が発生しています。春先のクマは基本的に昆虫やタケノコなどを食べますが、農作物や生ゴミの臭いに釣られて人家周辺にやってくることもよくありますので、クマを寄せ付けないよう、家の周りに生ゴミ等のエサとなる物を捨てない、ゴミ箱を放置しない等、十分な防除対策をお願いいたします。

クマの出没箇所をホームページ上に地図情報として公開しておりますので、クマの生息地である森林に近い中山間地にお住まいの方やキャンプ場にお出かけされる方は、随時情報をご確認ください。



クマ出沒注意情報 (府HP)



ツキノワグマイメーじ (株式会社野生動物保護管理事務所提供)

農村振興課 野生鳥獣係 TEL : 075-414-5022

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

令和5年度に取り組んでいる研究をご紹介します

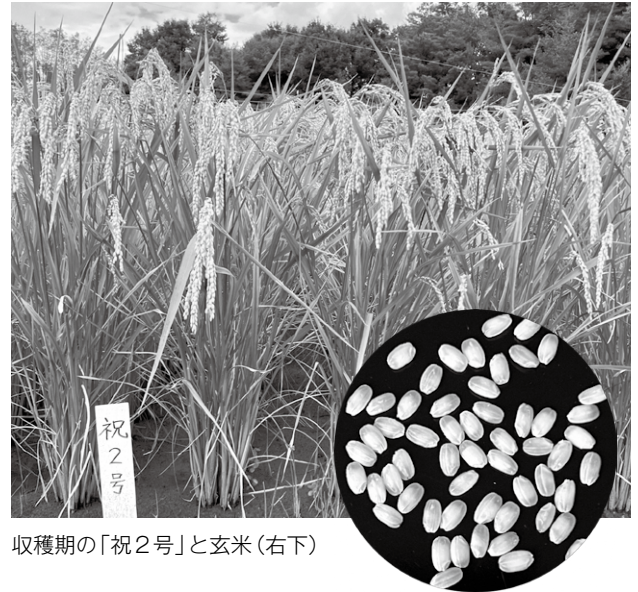
第19回 生物資源研究センター / 農林センター

研究1：～京の米で京の酒を～酒米新品種「祝2号」を育成

京都府独自の酒造好適米品種「祝」は、酒造会社から良質の酒米として高い評価を得ていますが、倒伏しやすく収量が少ないため、安定生産に課題がありました。

そこで生物資源研究センターでは、現在の「祝」並みの高い酒造適性を持ちながら、短い草丈で栽培しやすく、収量が多い品種へ改良し、昨年度、新たに「祝2号」と命名して品種登録出願を行いました。

「祝2号」は、令和6年度から本格的に現地生産を開始し酒造会社に供給されることになっています。当センターでは新品種の安定生産に向け、普及センターや農業団体とともに、最適な栽培技術をいち早く提供してまいります。



収穫期の「祝2号」と玄米(右下)

農林水産技術センター 生物資源研究センター 応用研究部 TEL：0774-93-3527

研究2：エビイモ栽培の機械化による産地拡大を目指して

エビイモはねっとりとした食感が特徴的なブランド京野菜です。その栽培管理は手作業に頼る部分が多く、特にイモの形をエビに似せるための土入れ作業が重労働であり、生産者からは負担軽減技術の開発が求められていました。そこで、当センターでは府内各地の生産者にご協力いただき、土入れの機械化を目指した試験を行ってきました。

その結果、機械化することで、手作業と比べて総収量を維持したまま作業時間を1/12以下に短縮できることがわかりました。

今回の実証の結果を多くのエビイモ生産者に知っていただき、機械利用による栽培体系を普及することにより産地拡大を図ります。



上：機械で土入れを行っている様子
右下：収穫した「4L・秀品」のエビイモ

農林水産技術センター 農林センター 栽培技術開発部 TEL：0771-22-6492

地域の取組

京都乙訓

初コラボ企画！

京都乙訓地域農林女子と京都市生活研究グループによる研修・交流会を開催

「京都乙訓地域農林女子」は、京都乙訓地域の農林業に従事する若手女性の団体です。

農林女子では、令和6年1月19日(金)に、加工品づくりや農産物の付加価値向上に関する知見を広めるため、今年50周年を迎え、地域の行事食、伝統食の加工、伝承に取り組んでいる京都市生活研究グループ連絡協議会との研修・交流会を行いました。

当日は、「ゆず大根」や「ネギ焼き」など、地域で愛されてきた人気商品について、各グループ員から作り方の工夫や開発の経緯等をワークショップ形式で学びました。農林女子からは、「同じ地域で活動している生活研究グループの方と知り合え、交流できてよかった。」、生活研究グループ員からは「今日は元気をもらった。これからは今回のような若い人たちとの繋がりを活かしながら、地域の食を伝える活動を考えていきたい。」という声が聞かれました。



ゆず大根の作り方を学ぶ



ワークショップの様子

京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

山城

山城農業士会×調理師専門学校等が初コラボ ～山城産農産物の魅力を発信～

山城産農産物のPR・販売強化や地域振興を目的に、山城地域農業士会、学校法人大和学園 京都調理師専門学校、JA京都やましろ及び山城広域振興局による初のコラボ企画、「京・やましろフェア」を令和5年10月下旬から3週間にわたり、専門学校内の学生レストランで開催しました。

フェア期間中は、農業士が生産した宇治茶・京やましろ新鮮野菜などの食材の魅力を活かしたオリジナルメニューが提供され、お客様から「宇治茶の新たな魅力を知り感激した」、「山城の味を堪能した」などの感想が寄せられました。

また、農業士会と学生が意見交換を行ったところ、学生から「農業に興味がある。生産現場を見に行きたい。」等の意見が出され、将来のファンづくりの契機となりました。



フェア期間のオリジナルメニューと交流会の様子

山城広域振興局 農林商工部 山城北農業改良普及センター TEL：0774-62-8686
山城南農業改良普及センター TEL：0774-72-0237

南丹

農村地域に「移住」し起業！ ～京都丹波地域で移住者が活躍～

京都丹波地域（亀岡市、南丹市、京丹波町）では「都会に近い田舎＝トカイナカ」の魅力を活かした関係人口の増加及び移住・定住を推進しており、近年、多くの方が移住されています。

また、自ら起業し活躍されている移住者が多く、移住者起業支援事業（府、市町補助事業）を活用し、この5年間で約60軒の会社やカフェなどを起業し地域で活躍されています。

亀岡市千歳町では、東京都から移住されたオーナーが古民家カフェ「毘沙門てらす」を開業し、地元農産物にこだわったメニューを提供しています。カフェは地域住民の憩いの場になっているほか、地域外からも多くの方が訪れ、新たな賑わいの場が生まれています。



毘沙門てらす（亀岡市）



地元千歳産の
大納言小豆を使用した
“あんこ”スイーツが大人気！

南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0771-22-0153

中丹

地域住民と連携して進める森林整備

中丹広域振興局では、平成26年及び30年に豪雨災害を受けた福知山市大堀地区で治山事業による復旧に取り組み、10年という長期間に渡り、治山ダム20基、山腹工8箇所の工事を実施し、この度復旧事業が完了しました。

地域では、独自の防災マップの全戸配布や自主防災組織の拡充を進めるとともに、森林整備の重要性を啓発するため、桃映中学校による区所有林での植樹体験などの活動を行ってきました。さらに地域資源の有効活用を図るため、令和4年度からは循環型林業（主伐・再造林）のモデル地域として、福知山地方森林組合と連携して事業に取り組みました。

令和5年10月に開催された「第63回治山研究発表会（主催：治山研究会（東京）」では、こうした取り組みが評価され、最優秀賞を受賞しています。

今後も地域住民との連携を密にし、ハード・ソフト一体となった総合的な災害対策とともに、森林資源の循環を目指した森林づくりを推進していきます。



福知山市大堀地区に設置した治山ダム

中丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0773-62-4621

丹後

大阪・関西万博に向けて、
丹後産農産物・加工品をアピール

丹後広域振興局では、2025年の大阪・関西万博を見据え、大阪での丹後産農産物・加工品の知名度アップと販路開拓支援に取り組んでいます。

令和6年1月17日(水)～23日(火)には、多くの人でにぎわう大丸梅田店で「丹後フェア」を開催し、丹後で人気のスイーツや加工品等を販売しました。初日・2日目は、丹後きものクイーンによる、丹後コシヒカリプレゼントキャンペーンを実施し、来場された多くの方々に丹後地域の魅力を知っていただけました。

続く1月24日(水)、25日(木)には、インテックス大阪での「FOOD STYLE Kansai 2024」に振興局ブースを設け、丹後の10事業者が魅力あふれる丹後の農産物や加工品を実需者にアピールしました。



大丸梅田店での「丹後フェア」

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0772-62-4305

丹後

による
府営ほ場整備事業女布地区の完了

「ほ場整備」事業とは農地の大区画化、用排水路・耕作道の整備、暗渠排水等を総合的に行い、農業法人などの担い手に集約することで、労働生産性の向上と農村の良好な環境を整備する事業です。

このたび、京丹後市久美浜町の女布地区で平成26年度から実施していた「ほ場整備」が完了しました。

地域の農業法人などの担い手による大型機械での水稻栽培や、水田が乾田化されたことにより、ミズナ、キュウリ、トマトなどの野菜の栽培が始まりました。

今後も「ほ場整備」により優良農地を確保し、地域の農業を守ってまいります。



完成したほ場(女布地区)

丹後広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0772-62-4424

シリーズ 学び舎へようこそ！
～未来の担い手を育む事業を紹介します～

海の民学舎修了生が海女を目指して奮闘中！！

京都府は、漁業団体や沿岸市町と協力して漁業者を育成する「海の民学舎」を運営しており、府内で新たに漁業に就業しようとする方々の育成から就業・定住まで全面的に支援しています。

昨年3月に学舎を修了した田村優空さんは、現在、舞鶴市内の漁業者の下で操船や素潜り等の技術習得に励んでいます。

田村さんは、近い将来、漁協組合員の資格を取得し、舞鶴湾で海女として独立する予定で、今後の活躍が期待されています。



素潜り漁の技術習得中の田村さん

水産課 漁業漁村係 TEL：075-414-4994

牛のいる暮らしを目指して研修中！



餌やりをしながら健康観察



「畜産やってみたい！でも何からしたらいいの？」そんな方の就農を支援するため、京都府では、令和2年度から綾部市の京都府農林水産技術センター畜産センターにおいて京都府畜産人材育成研修を行っています。

2年間の充実したカリキュラムで、①畜産経営に必要な繁殖や家畜衛生知識など「基礎力」、②経営分析・労務管理・経営戦略など「経営力」、③家畜飼養管理の技術など「実践力」を習得し、畜産現場での即戦力を目指すことができます。

畜産業＝力仕事、といったイメージもありますが、現在は機械化も進み、女性も多く活躍されており、受講生の半分以上を女性が占めています。畜産の1日体験なども実施していますので、興味のある方がいましたら、ぜひご連絡下さい。

畜産課 畜産振興係 TEL：075-414-4981

農大生が最先端技術を視察

京都府では、就農・就業を目指す農大生が経営感覚に優れた農業経営者として活躍できるよう、国の事業を活用し、農業大学校におけるカリキュラム強化を実施しています。

令和5年度については、農業大学校におけるスマート農業カリキュラムの一環として、植物工場見学を実施しました。学生からは、「AIやIoTの活用により、作業の省力化が図られることを実感し、自分が就農する際はスマート農業の導入を検討したい」「野菜の生産にも様々な方法があることを改めて学び、視野が広がった」との声が聞かれました。



植物工場担当者からの説明を受ける

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4942

発行/令和6年3月

編集/京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4898 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。

公式ホームページ <https://kyoto.jinken.net/imagesong/>